

総合的な学習の時間 出前授業「手話体験学習」

川崎市立宮崎小学校



単元（題材）目標

○地域の人、もの、ことについての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

（1）実施時期

12月上旬

（2）対象（学年等・人数）

第4学年 児童190名、 小学校教員5名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：手話サークル「手の花」6名

（4）実施内容

- ①講演会：「聞こえないってどういうこと？」
 - ・学校名を手話で表す「宮崎小学校」
 - ・聾学校の説明（みんなの学校との違い、県内に4つだけ、通うのが大変 など）
 - ・聞こえなくなったのはいつか、出身校 など
 - ・日常生活の様子や災害時のお願い
- ②寸劇：ろう者が日常生活の中で困っていること、不便なこと
 - ・後ろから自転車が（ベルや声が聞こえません）
 - ・電車の中やホームで（アナウンスが聞こえないので不安）どうしたらよいのかを子どもたちに考えてもらう
- ③実演：聞こえない人とのコミュニケーション方法
 - ・口話 ・身振り ・空書 ・指文字
 - ・手話（あいさつ、拍手の仕方、教科）
- ④体験：コミュニケーション方法を体験する
 - ・様々な言葉を口話、身振り、空書で表現する
 - ・手話であいさつ
- ⑤質疑応答

（5）成果

- 聴覚障がい者に対する理解を深めることができた。
- 手話以外のコミュニケーションがあることを知り、さまざまなコミュニケーション方法で表現をすることができるようになった。
- 聴覚障がい者やコミュニケーションツールに対し、さらに興味を広げて調べ学習を進めるきっかけになった。